



スマートエネルギープロジェクト

メガソーラー所沢等、公共施設への太陽光発電設備の設置、家庭や事業者、自治会等の創エネ機器等の導入への補助を進めることで、市域で多くの再生可能エネルギーを創出しました。

また、平成30年度には、地域新電力事業として(株)ところざわ未来電力を設立し、公共施設や事業者環境にやさしい電力を供給することで、市域における温室効果ガス排出量削減に努めました。

《スマートエネルギープロジェクト目標指標》

目標指標	基準値	H30 目標値	H30 実績値
市域における温室効果ガス排出量削減率	0% (H19)	3.80%	3.67%
市域における太陽光発電システムの総発電出力	9,881 kW	19,200 kW	35,364 kW

《プロジェクトを構成する重点事業》

1. メガソーラー所沢設置運営事業
2. 公共施設への太陽光発電設備設置事業
3. エコハウス・エコリフォーム促進事業
4. 省エネ・再エネ機器導入活用支援事業
5. エコカー利用促進事業
6. エネルギー・温暖化対策教育プログラム



《重点事業目標指標》

指標項目	基準値	上段：年次目標			下段：実績値	
	H24	H26	H27	H28	H29	H30
メガソーラー所沢の総発電量 (MWh)	—	1,160	2,230	3,290	4,350	5,400
		1,405	2,704	3,997	5,308	6,609
公共施設における太陽光発電システムの総発電出力 (kW)	101.7	600	970	980	990	1,000
		573.2	1,064.7	1,089.7	1,089.7	1,089.7
エコハウスの新築及びリフォーム件数	—	12	24	36	48	60
		26	47	63	92	119
市内の住宅・事務所に導入する太陽光発電システム設置件数	2,598	3,150	3,700	3,800	3,900	4,000
		3,879	4,326	4,788	5,070	5,499
市内のエコカー販売台数	12	40	100	200	450	900
		113	170	202	278	353
3つのプロジェクト共通指標						
教育プログラムへの参加により、環境のために行動しようと思った人の割合 (%)	79.5	83.0	83.5	84.0	84.5	85.0
		80.1	82.0	74.5	91.1	81.0

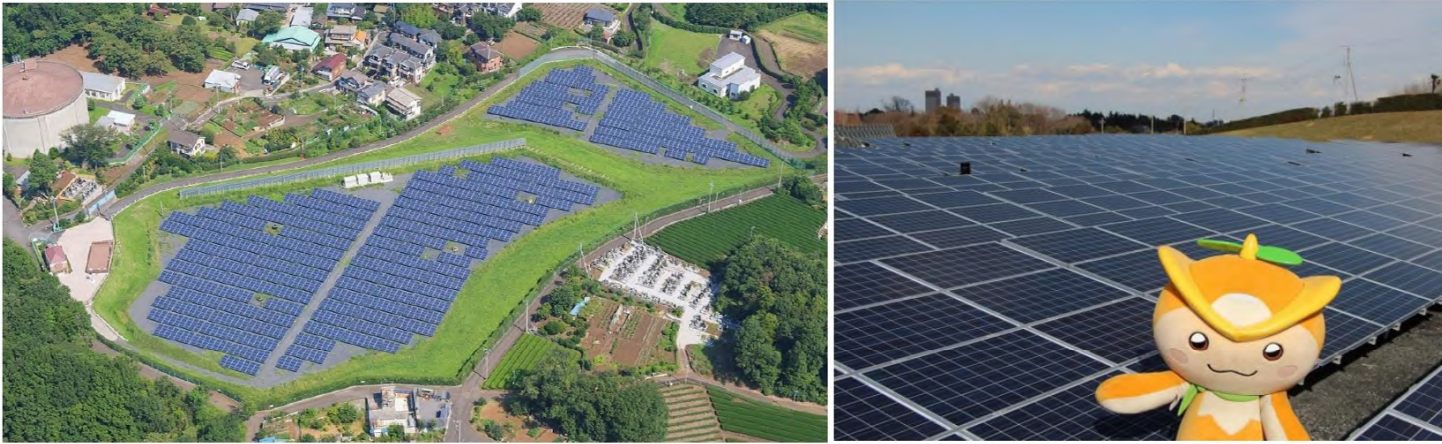


メガソーラー所沢設置運営事業

メガソーラー所沢は、「マチごとエコタウン所沢構想」の先導的事業に位置付けられ、本市の再生可能エネルギー導入のシンボルとして、平成 26 年 3 月に設置した、大規模太陽光発電設備です。

固定価格買取制度（FIT）を活用した施設で、その建設費（見晴台等の啓発施設を含む）や維持管理費を事業期間 20 年間の売電収入のみで賄う計画としています。

また、本施設は、一般廃棄物最終処分場を有効利用した、埼玉県内初となる包括リース方式による大規模太陽光発電設備の設置運営事業として市内外の注目を集めています。



1 施設の概要及び売電実績

設置場所：所沢市北野一般廃棄物最終処分場（所沢市北野南三丁目 16 番地の 24）

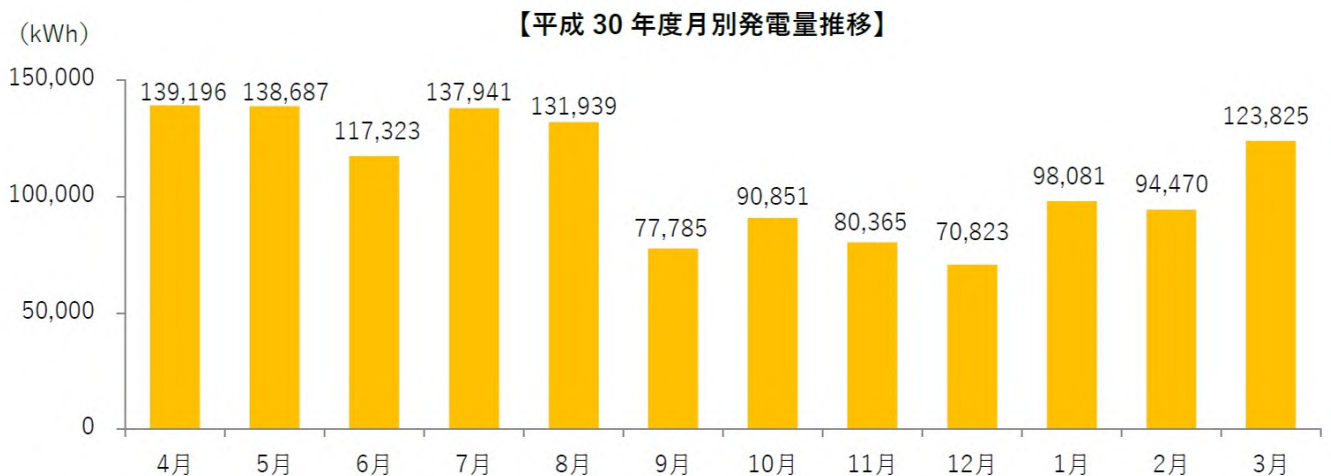
事業期間：平成 26 年 3 月～令和 16 年 2 月までの 20 年間

発電出力：1,053kW（1.05MW）

想定発電量：1,066,560kWh／年（20 年間平均値）

平成 30 年度売電量：1,277,831kWh（一般家庭約 291 世帯分の 1 年間の電気使用量に相当）

平成 30 年度売電額：53,270,075 円



年度	H26	H27	H28	H29	H30
売電量 (kWh)	1,362,166	1,153,991	1,257,855	1,277,920	1,277,831
売電額 (円)	53,965,644	47,336,793	52,361,739	53,273,294	53,270,075

フロートソーラー所沢設置運営事業

本市は、平成 27 年 6 月から埼玉県と連携して、「埼玉エコタウンプロジェクト（11 ページ参照）」を松が丘地区で推進しました。

フロートソーラー所沢は、この関連事業として、市域における再生可能エネルギーの積極的な導入のために整備した水上太陽光発電設備で、固定価格買取制度（FIT）を活用し、20 年間に渡って売電収入を得る計画となっています。



1 施設の概要及び売電実績

設置場所：松が丘調整池（所沢市松が丘一丁目 84 番）

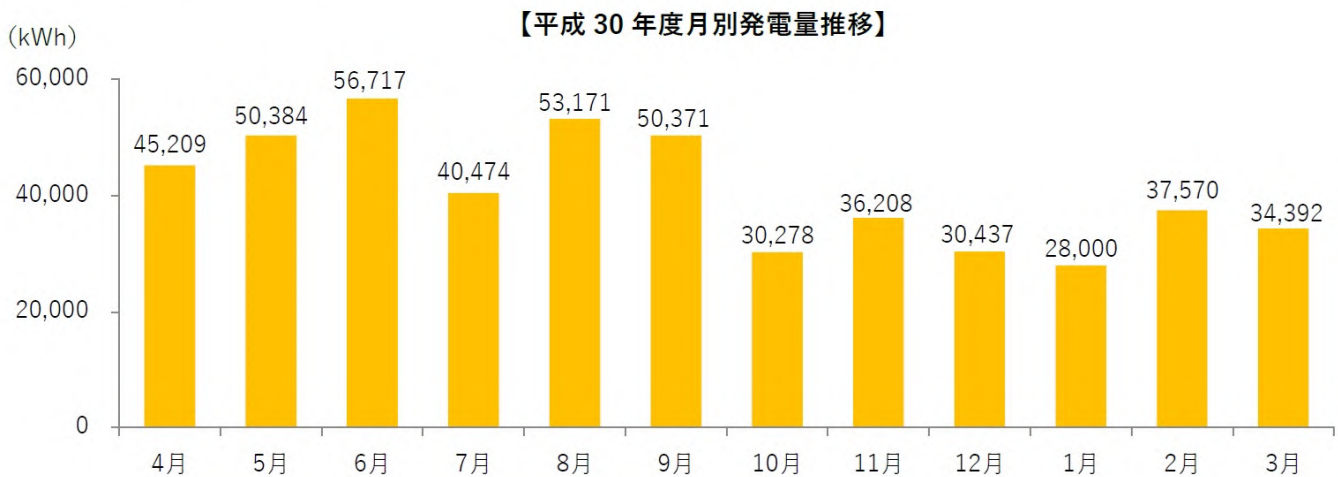
事業期間：平成 29 年 3 月～令和 19 年 2 月までの 20 年間

発電出力：385.56kW

想定発電量：435,523kWh/年（20 年間平均値）

平成 30 年度売電量：493,211kWh（一般家庭約 112 世帯分の 1 年間の電気使用量に相当）

平成 30 年度売電額：12,784,025 円



年度	H29	H30
売電量 (kWh)	507,872	493,211
売電額 (円)	13,164,037	12,784,025

市有施設の屋根貸しによる太陽光発電事業

再生可能エネルギーの普及拡大及び災害時等のエネルギーの安定供給を図るために、市有施設の屋根を民間事業者に貸し出し、太陽光発電設備の導入を進めました。

平成 26 年 9 月より、市立小中学校 27 校で順次発電を開始し、環境教育にも活用しています。令和元年度中には、(株)ところざわ未来電力の地産電源となり、公共施設等の使用電力となる予定です。



1 事業対象市有施設の一覧

学校名 (H26 年度～)	発電容量	学校名 (H27 年度～)	発電容量
①中央小学校	23.78 kW	①南小学校	17.22 kW
②若松小学校	11.28 kW	②北秋津小学校	32.80 kW
③北野小学校	43.46 kW	③伸栄小学校	30.14 kW
④北中小学校	24.60 kW	④美原小学校	38.13 kW
⑤林小学校	55.76 kW	⑤牛沼小学校	34.85 kW
⑥宮前小学校	25.42 kW	⑥柳瀬小学校	28.29 kW
⑦安松中学校	40.18 kW	⑦西富小学校	31.57 kW
⑧柳瀬中学校	38.75 kW	⑧小手指小学校	34.44 kW
⑨富岡中学校	55.15 kW	⑨上新井小学校	16.61 kW
⑩北野中学校	34.44 kW	⑩椿峰小学校	46.74 kW
⑪上山口中学校	38.13 kW	⑪若狭小学校	48.18 kW
⑫三ヶ島中学校	28.70 kW	⑫美原中学校	27.88 kW
⑬狭山ヶ丘中学校	51.87 kW	⑬南陵中学校	45.92 kW
		⑭東中学校	28.70 kW
合計出力：932.99 kW		発電量実績：1,040,917 kWh (H30 年度)	

電気自動車等充電インフラ整備事業

走行中に二酸化炭素や排気ガスを排出しない電気自動車（EV）の普及を図るため、平成27年1月、所沢市民体育館に急速充電器1基、普通充電器1基を整備しました。また、平成30年3月、東部クリーンセンターに急速充電器1基を整備しました。

東部クリーンセンターは、ごみ焼却熱発電を行っており、この電力を利用することにより、環境にやさしい電力で充電することが可能です。災害等による停電時も、ごみ焼却により発電機が稼働できるときは、充電することが可能です。



所沢市民体育館 EV 充電器
(急速充電器1基、普通充電器1基)



東部クリーンセンター EV 充電器
(急速充電器1基)

1 利用実績

【所沢市民体育館 EV 充電器利用実績】

年度	急速充電器	普通充電器
H27	426 回	235 回
H28	521 回	214 回
H29	602 回	318 回
H30	701 回	339 回



【東部クリーンセンター EV 充電器利用実績】

年度	急速充電器
H30	216 回



『実践！創エネ・省エネ』スマートエネルギー推進補助事業

市域における再生可能エネルギーの導入及びエネルギーの効率的な利用をより一層推進するため、太陽光発電設備や蓄電池、エコカー等を導入する市民、事業者、自治会等に対して、経費の一部を補助しました。導入された機器等による二酸化炭素排出の削減量は、5年間で3,556トンにのびます。



1 補助金交付件数

【家庭用】

補助対象項目		H26	H27	H28	H29	H30
太陽光発電システム		252	246	205	147	189
太陽光採光システム		0	0	0	0	0
太陽熱利用システム	太陽熱温水器	0	1	0	2	2
	ソーラーシステム	2	2	3	1	1
蓄電池		18	54	54	51	85
コージェネレーションシステム	ガスエンジン	0	0	0	0	0
	燃料電池	32	48	46	32	30
バイオマスストーブ	ペレット	1	1	1	2	0
	薪					
エコカー	電気自動車	31	20	11	15	11
	プラグインハイブリッド車		20	2	33	11
	燃料電池自動車	-	0	1	1	1
エコカー充電設備 (V2H)		-	-	-	0	1
雨水貯留槽		11	11	14	7	4
ホームエネルギー管理システム (HEMS)		29	54	65	37	55
地中熱利用システム	ヒートポンプ式	0	0	0	0	0
	蓄熱式空気循環					
エコハウス	低炭素建築物	5	8	5	13	21
	ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス	-	6	11	19	14
合計		381	471	418	360	425

【事業者用】 高効率機器、エコカー等に補助

H26	H27	H28	H29	H30
13	8	2	7	7

【自治会・管理組合用】 LED照明等に補助

H26	H27	H28	H29	H30
-	1	0	15	10

埼玉エコタウンプロジェクト

既存街区に徹底した創エネ・省エネ・蓄エネ設備を導入することで、丸ごとエコタウン化し、そのモデルを全国に発信する埼玉県のプロジェクトです。平成 27 年度に本市と草加市がモデル市に選定され、平成 29 年度までの 3 年間、重点実施街区である松が丘地区の住宅に対し、補助制度を活用する等、自発的なスマートハウス化を促進しました。

また、松が丘周辺の公共施設等に対しても太陽光発電設備や省エネ設備等を導入し、総合的なエコタウン化を推進しました。



1 県の補助金交付件数

設備	H27	H28	H29
エコジョーズ	23	27	31
エネファーム	20	21	16
エコキュート	0	3	3
ハイブリッド給湯器	0	1	0
コンロ	20	21	8
節湯水栓	15	17	20
窓	16	9	24
ドア	3	4	2
トイレ	10	22	40
LED	6	30	69
浴槽	4	11	9
遮熱塗装	9	6	8
断熱改修	0	2	4
太陽光発電	3	6	4
蓄電池	0	5	2
エアコン	4	16	15
冷蔵庫	18	4	20
テレビ	2	6	2
合計	153	211	277



展示会や補助金相談会を定期的で開催

2 重点実施街区の周辺事業の実績

【平成 27 年度】

- 電力ピークカット等蓄電池実証事業
(吾妻まちづくりセンター・吾妻保育園に設備設置)
- 公園灯 LED 化整備事業
- 地域密着型ローコスト太陽光発電等普及モデル事業
(マチエコ応援隊の結成・活動)

【平成 28 年度】

- 電力ピークカット等蓄電池実証事業 (実証実験)
- フロートソーラー所沢の設置運営

【平成 29 年度】

- 電気自動車普及推進事業

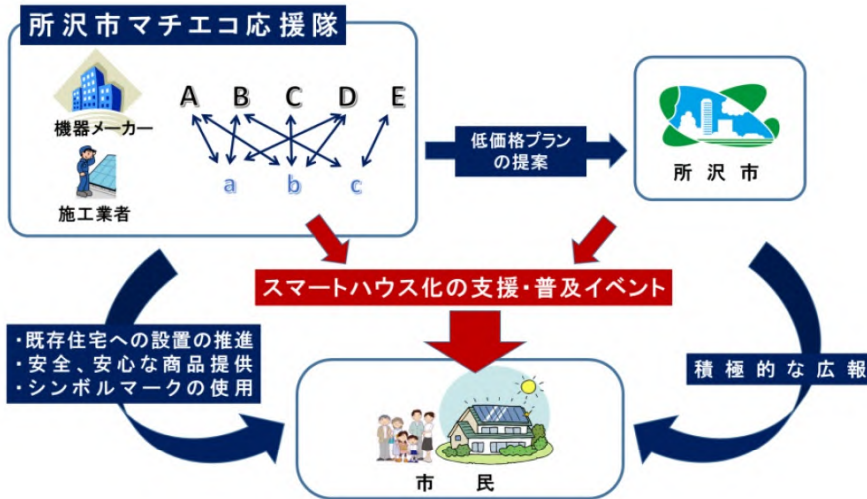


フロートソーラー所沢は可搬式蓄電池 2 基を設置する太陽光発電を活用した防災モデルとなっています。



地域密着型ローコスト太陽光発電等普及モデル事業（マチエコ応援隊）

既存住宅のスマートハウス化を推進するため、平成27年11月に「所沢市マチエコ応援隊」を結成しました。本応援隊は、各機器メーカー及びメーカーが推奨する市内施工業者等で構成され、市と協働で創エネ機器等の導入を推進する様々な活動を行っています。



【活動イメージ図】



【シンボルマーク】

1 応援隊メンバー

【機器メーカー】

- シャープエネルギーソリューション(株)
- ソラーフロンティア(株)
- 長州産業(株)
- パナソニック(株)エコソリューションズ社
- パナソニック(株)アプライアンス社
- 三菱電機住環境システムズ(株)
- ネクストエネルギー・アンド・リソース(株)
- (株)LIXIL

【市内施工業者】

- (株)ヤマニエコライフ
- (株)和孝
- 東京ガスタマライフバリュー(株)
- (株)キャッツ

合計 12 社

2 活動実績

最新エコ機器展示相談会等のイベントや、エネルギーの最新動向に関するセミナー等を実施するとともに、低価格で安全・安心な創エネ機器等の販売・施工を行いました。



電気自動車普及推進事業

次世代自動車の普及を進め、市域における交通分野の低炭素化を図るため、電気自動車（EV）の様々な利用形態ごとに走行データ等を検証し、EV 普及に向けた課題抽出や車両特性を生かした活用方策等を検討する EV のモニター調査を実施しました。

また、EV 等の次世代自動車に触れてもらうため、試乗・展示会やシンポジウム等を開催しました。



1 事業内容

【EV のモニター調査】

市民等への EV の使用機会の提供と、モニターの意向や走行データの収集・分析を行い、EV の普及推進を図る上での課題抽出や EV の有用性の周知・啓発を行いました。

調査期間：平成 29 年 7 月～30 年 1 月

実施区分：市民（12 世帯）、事業者（4 者）、共同利用（通勤等 1 団体／買物支援等 1 自治会）

利用車両：日産リーフ（6 台）、e-NV200（3 台）



【次世代自動車の試乗・展示会】

EV や燃料電池自動車（FCV）、小型モビリティなどの試乗体験や車両展示を行いました。

- クラシックカーフェスティバル
- 市民フェスティバル
- 次世代自動車シンポジウム

【次世代自動車シンポジウムの開催】

普及に向けた基調講演やモニター調査参加者によるパネルディスカッションを行いました。

基調講演：電気自動車の普及推進に向けた課題と期待
法政大学社会学部 糸久 正人 准教授



2 事業実施後の EV 活用

モニター調査に利用した EV 9 台は、主要公共施設に配備し、公用車やイベントの電源として活用するほか、災害時には非常用電源として活用していきます。

本庁舎	リーフ、e-NV200
保健センター	リーフ 2 台
こどもと福祉の未来館	e-NV200
市民医療センター	リーフ
東部・西部クリーンセンター	リーフ各 1 台
上下水道局	e-NV200

Topics

ついに！
水素ステーションが所沢にも！！

FCV 普及推進のため、民間事業者が設置する水素ステーションの用地として、市有地を貸し出しました。

開所：令和元年 11 月 1 日
場所：所沢市松郷 265 番地の 1



廃棄物発電電力による収集運搬低炭素化事業

ごみの収集運搬業務の低炭素化を図るため、電気式ごみ収集車（EV パッカー車）、給電・蓄電システム（電池ステーション）を平成 31 年 3 月に全国で初めて*導入しました。この EV パッカー車は、東部クリーンセンターのごみ焼却熱を利用して発電した電力を充電した蓄電池を動力としています。

また、災害時等には非常用電源として、避難所でのスマートフォンの充電やパソコン、照明等の電源として活用していきます。

※神奈川県川崎市と同時期の導入。



電気式ごみ収集車
(EV パッカー車)



給電・蓄電システム
(電池ステーション)

1 概要

【電気式ごみ収集車（EV パッカー車）】

台 数：1 台
積 載 量：1,350 kg
走行距離：60 km（蓄電池の交換で 180 km 走行可能）

【給電・蓄電システム（電池ステーション）】

充電時間：8 時間（普通充電）
交換時間：3 分以内

【蓄電池の容量】

電池容量：40 kWh／個
種 類：リチウムイオン
耐久回数：2,500 回（約 10 年）

災害時の用途として、蓄電池 1 個あたり、スマートフォンの充電で約 5,000 台分、ノートパソコンで約 250 台分の稼働（24 時間）が可能です。



地域新電力事業

地域新電力事業は、環境にやさしい電力を地域に広めることで再生可能エネルギーの利用率を高めるとともに、市民の皆様の自然に寄り添う暮らしを支え、市民や事業者と一緒に持続可能な地域社会の実現を目指していくものです。

平成30年5月28日に地域新電力会社「(株)ところざわ未来電力」を設立し、10月から高圧需要家（市内公共施設及び民間事業者）を対象に電力供給を順次開始しました。

(株)ところざわ未来電力では、得られる収益を活用し、市民の皆様や事業者の方々の協力を得て、更なる再生可能エネルギー電源の創出を進めるほか、電力小売事業の特性を生かした社会貢献活動にも積極的に取り組んでいきます。



再エネ普及に向けた地域新電力事業に係る包括連携協定（平成29年11月）

1 会社概要

会社名：株式会社ところざわ未来電力

所在地：所沢市宮本町二丁目21番4号（上下水道局庁舎内）

資本金：1,000万円

出資者：所沢市（51%）、JFEエンジニアリング(株)（29%）、飯能信用金庫（10%）、所沢商工会議所（10%）

役員：代表取締役 大舘 勉（所沢市 副市長）
取締役 加藤 孝之、廣川 澄芳（所沢市）
川原 太郎（JFEエンジニアリング(株)）
内田 勉（所沢商工会議所）
監査役 山下 恒夫（飯能信用金庫）

設立日：平成30年5月28日



ロゴのコンセプトは、人と人が支え合って、共に未来に向かって成長してゆくイメージ。

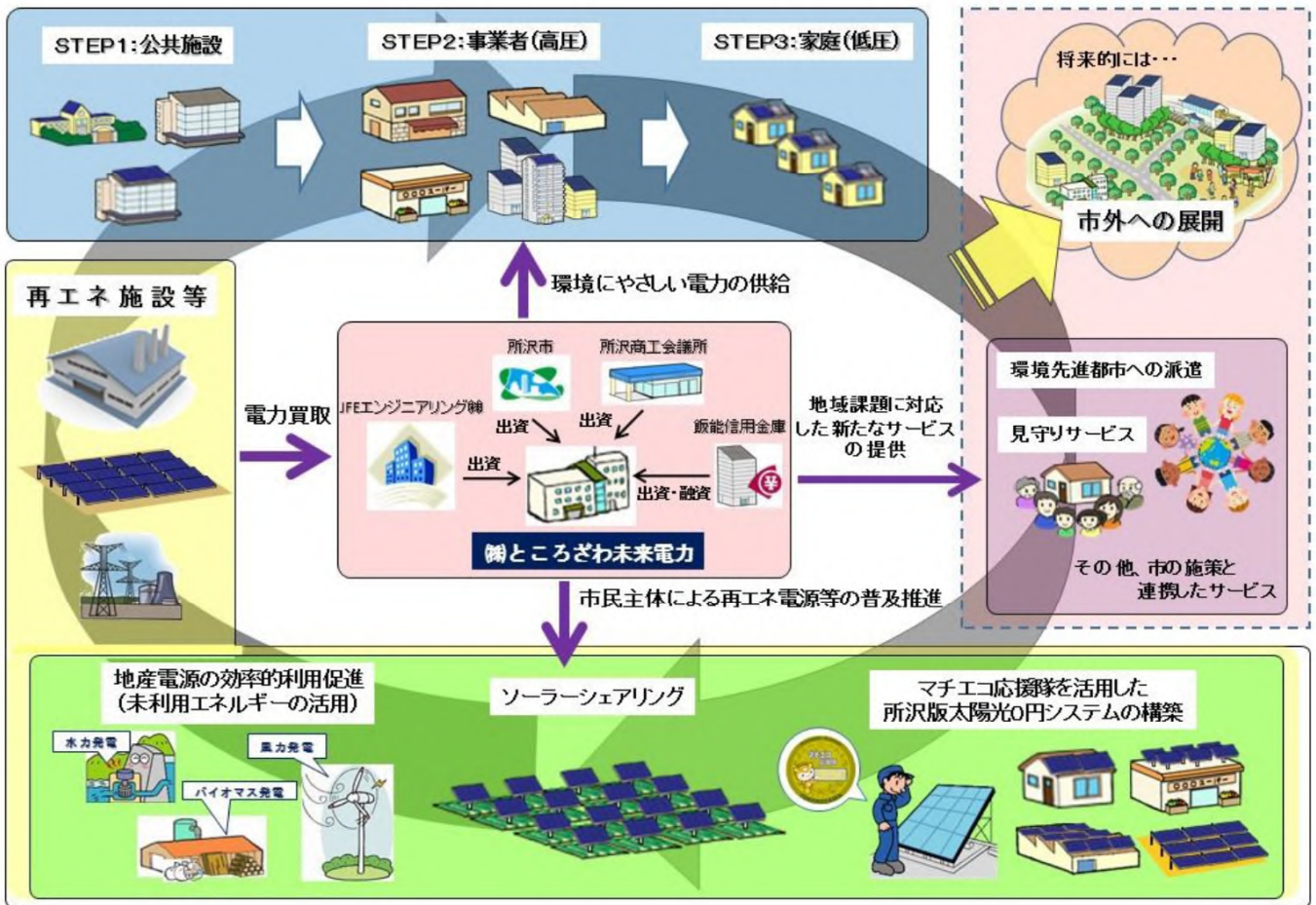
使用するカラーは所沢のシンボルマークと同じ、青と緑を基調にしています。

Think Globally , Act Locally

「地域の未来を思いながら、再エネで地域の暮らしを支えていく」



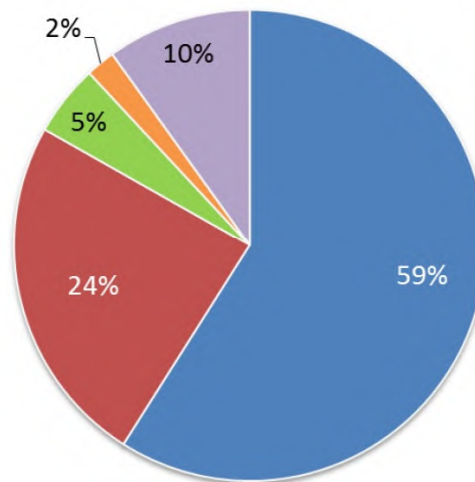
2 事業イメージ図



3 供給電源

供給電源の内訳としては、フロートソーラー所沢による太陽光発電、東部クリーンセンターをはじめとする埼玉県内の清掃工場等の廃棄物発電が主な電源となっているため、再生可能エネルギー比率（FIT 電気及び未利用エネルギーを含む）の高い電源構成となっています。

(株)ところざわ未来電力
平成 30 年度電源構成比率



- 再エネ（県内バイオマス等）※1
- 再エネ（関東圏内バイオマス等）※1
- 再エネ（市内バイオマス等）※2
- 再エネ（市内太陽光）
- 卸電力取引所※3

※1 FIT電源・未利用エネルギーを含む
 ※2 未利用エネルギーを含む
 ※3 卸電力取引所から調達する電気には水力、火力、原子力、FIT電気、再生可能エネルギー等が含まれます。

CO₂排出係数（調整後）
0.253kg-CO₂/kWh

国際都市間協力プロジェクト

国際都市間協力プロジェクトは、欧州連合（EU）が実施する国際都市間協力事業であり、EU 以外の都市と EU の都市がペアを組み、相互訪問、会議・セミナー等を通じて連携テーマにおける課題解決のため、成功事例等を学び合い、実行計画を策定するものです。

本市の連携パートナー都市であるブラチスラバ市（スロバキア共和国）との相互連携により、環境分野を中心とした持続可能なまちづくりのための総合的な政策の推進を図ります。

【連携テーマ】

- 気候変動適応策
- 都市における自然に根差した課題解決策及びスマートエコシティづくり



ブラチスラバ市の担当者とともに



世界各国の都市の担当者が一堂に会した「City to City イベント」

1 活動実績

【平成 30 年 10 月 10 日～12 日】

ブリュッセル（ベルギー）にて開催された欧州連合・日本都市間交流会議に出席し、「気候変動軽減とエネルギー」部会にブラチスラバ市担当者とともに参加しました。

ブラチスラバ市担当者と両市の連携テーマについて協議を行いました。

【平成 30 年 10 月 15 日～17 日】

本市の視察団がブラチスラバ市を訪問し、自然を生かした公園、貯水池、トラム（路面電車）等を視察しました。滞在中には、ブラチスラバ市の気候変動適応策を共有するだけでなく、本市の環境施策としてメガソーラー所沢、みどりの保全等の取組みを紹介しました。



欧州連合・日本都市間交流会議



再開発地区の公園視察



世界首長誓約／日本

持続可能なエネルギーの推進、温室効果ガスの国の削減目標以上の削減、気候変動の影響への適応に取り組むことにより、持続可能でレジリエント(強靱)な地域づくりを目指すとともに、パリ協定の目標の達成に地域から貢献しようとする自治体の首長が、その旨を誓約し、そのための行動計画を策定した上で、具体的に行動を起こす世界的な取り組みです。

本市は、平成 31 年 2 月 14 日、国内では 19 番目に上記誓約書に市長が署名しました。世界の各都市の取り組みを学びながら、子どもたちの未来を紡ぐマチを目指します。



平成 31 年 2 月 14 日 署名式の様子

所沢版 RE100

平成 30 年 6 月 7 日、使用電力の構成を再生可能エネルギー 100% にしようとする国際的な枠組みである RE100 (Renewable Energy 100%) の理念に賛同し、「所沢版 RE100」の実現に向けてその取り組みの検討を進めていくことを表明しました。

その具体策として、毎月 25 日を「RE100 の日」に制定し、その日 1 日の対象施設の使用電力を再生可能エネルギー 100% にしています。

実施日：毎月 25 日
(土日・祝日の場合は翌開庁日)
実施施設：本庁舎、上下水道局庁舎、
市民医療センター

**毎月25日は
RE100
の日**

所沢版 RE100

RE100 (Renewable Energy 100%) とは、企業の事業運営に関する使用電力の構成を再生可能エネルギー 100% にしようとする国際的な枠組みです。
市では、その理念に賛同し、毎月 25 日を「RE100 の日」とし、その日 1 日の市庁舎の使用電力を再生可能エネルギー 100% にします。

“そろそろ本気で考えてみませんか 地球のこと”

環境クリーン部環境政策課 【TEL】 2998-9133

はじめよう ECO 生活 エコファミリー認定事業

次世代を担う子どもたちへの環境学習の推進及び子どもたちを中心とする家庭での省エネ活動の促進を図るため、平成 29 年度より実施しています。

設定されたエコアクションのメニューの中から、実施するものを選択（宣言）し、WEB 上で事前登録を行うことで、実施メニューごとにポイントが付与されるものです。

ポイント数のレベルに応じて奨励品を贈呈します。



【奨励品例】 ビクセンの双眼鏡・市内生産の野菜や果物・地産地消レストランお食事券 等



1 CO₂ 削減実績

対象	H29		H30	
	参加者	CO ₂ 削減量 (t-CO ₂)	参加者	CO ₂ 削減量 (t-CO ₂)
小中学生	5,402	19.5	8,890	17.9
一般	96	1.0	163	3.3
合計	5,498	20.5	9,053	21.2



動画コンテストによる啓発事業

省エネ行動等の環境配慮の取組みを促進する魅力ある映像作品を広く募集し、優秀な作品を表彰するとともに市内外に発信しました。



受賞作品はコチラ

1 マチエコ動画コンテスト

テーマ：「未来の子どもたちに残したいマチへ
～マチごとエコタウン所沢～」
募集期間：平成 28 年 8 月 1 日～10 月 15 日

【受賞作品】

- グランプリ 「すぐそこにある所沢の自然」
劇団笑劇音楽隊 鈴木理英子
- 優秀賞 「みらいに残したいマチへ
〈地球環境自治活動〉」
山口地区環境推進員 神藤年三
- アイデア賞 「すてちゃうの」
芸術総合高校 映画部 東谷豪紀
- 応募 他 7 作品



2 温暖化防止動画コンテスト

テーマ：「みんなで探そう“地球の救い方”」
募集期間：平成 29 年 7 月 19 日～9 月 29 日

【受賞作品】

- グランプリ 「いまできること」
劇団おしゃれ大学 青柳瑞樹
- 準グランプリ 「地球はこれから」
鮎川村立鮎川中学校 2C3C 義高 互
- 入選 「STOP 温暖化」
朝川博明
- 「戦う者に明日はある。」
芸術総合高校 映画部 伊堂寺夏鈴
- 「悲鳴」
同志社大学 学生テレビ局
- 応募 他 5 作品



【啓発冊子】

地球温暖化防止を市民に広く啓発するため、冊子『みんなで探そう「地球の救い方」』を中学校や公共施設で配布しました。

キャンドルナイト（ライトダウンイベント）

本事業は、普段何気なく使っている電気を消して、キャンドルの灯りの中で心豊かな夜を過ごしなが
ら、来場者に環境にやさしいライフスタイルについて考えてもらい、環境配慮の行動につなげていくこ
とを目的として実施しています。

【実施概要】

開催時期：7月下旬

開催場所：所沢航空記念公園 噴水前広場

プログラム

- キャンドル点灯・配布・絵付け体験
- 環境教育のためのパネルとリーフレット等の展示
- アーティストによるミニライブ
- 出張ちょいバル

所沢の食材を使った料理や飲み物を楽しんでもらい、
地産地消を推進しました。また、出店店舗の協力のもと
に、イベント時に大量に排出されがちなプラスチックご
みの抑制（38 ページ参照）を実現しました。



1 実施結果

年度	H26	H27	H28	H29	H30
参加人数	約 450 人	約 450 人	雨天中止	約 1,000 人	約 1,200 人
内容	キャンドル設 置、ミニライブ	キャンドル設 置、ミニライブ		キャンドル設置、 ミニライブ、ちょ いバル同時開催	キャンドル設置、イ ルミネーション、ミ ニライブ、ちょいバ ル同時開催



環境学習支援事業（地球にやさしい学校大賞）

児童・生徒、教職員、保護者が協力して環境行動に熱心に取り組み、顕著な実績をあげた学校を表彰する制度として、平成19年度より実施しています。

市長賞2校（小中学校各1校）、教育長賞2校（小中学校各1校）、入選5校（小学校3校、中学校2校）、努力賞2校（小中学校各1校）を選考し、夏期に表彰式を行います。



1 歴代受賞校一覧（過去5年間）

年度		H26	H27	H28	H29	H30
市長賞	小学校	松井	中央	松井	若松	宮前
	中学校	東	北野	向陽	小手指	東
教育長賞	小学校	宮前	山口	富岡	富岡	中央
	中学校	上山口	東	北野	柳瀬	小手指
入選	小学校	北中・山口・若狭	三ヶ島・北野・若松	並木・上新井・荒幡	和田・小手指・松井	若狭・富岡・若松
	中学校	向陽・北野	上山口・狭山ヶ丘	美原・南陵	東・狭山ヶ丘	安松・向陽
努力賞	小学校	北・清進・中央・東所沢・中富	清進・松井・北	小手指・北・安松	林	南
	中学校	美原・狭山ヶ丘	南陵・向陽	小手指・柳瀬	所沢	山口

副賞（消耗品及び花とみどりのギフト券）：市長賞及び教育長賞（30,000円分）、入選（10,000円分）、努力賞（5,000円分（H26は3,000円分））



わたしたちの環境

「わたしたちの環境」は、身近な環境から地球環境の問題にまで視野を広くもち、持続可能な社会の在り方や生態系の仕組み等について理解してもらうことを目的に、小学校高学年向けの環境冊子として作成しています。

総合学習や夏休みの自由研究を行う上での補助教材として使用してもらうため、毎年、市内の小学校5年生の全員に配布しています。

【主な配布先】

- 小学校 32 校
- 地球にやさしい学校大賞受賞中学校



出前講座等の教育プログラム

保育園や小学校、市民団体等を対象に、出前講座やメガソーラー所沢の見学会等の教育プログラムを実施し、環境への理解を深めてもらうことで環境配慮行動実践の意識向上を図っています。

年度	H26	H27	H28	H29	H30
回数	6	6	3	4	5
参加者	435	510	164	124	354



マチエコ大使事業

「マチごとエコタウン所沢構想」の趣旨及び本市の環境施策を市内外に紹介するため、平成 27 年度から「マチエコ大使」を設置し、環境配慮行動の普及啓発を図りました。

平成 27 年度に市内在住の「上田マリノ」さんを、平成 28 年度に「水萌みず」さんを選定し、様々なイベントや広報ところざわ等で環境について PR を行いました。

《上田マリノ》

所沢市出身のモデル、デザイナー、環境ナビゲーター。
市の環境審議会委員。

《水萌みず》

平成 27 年に「GAKUSEIBU 所沢駅イメージモデル」就任。現在は、舞台やライブなど多方面で活躍中。
日本大学芸術学部卒。



1 活動実績

年度	上田マリノ	水萌みず
H27	10 回	—
H28	8 回	4 回
H29	5 回	5 回
H30	3 回	4 回

環境イベントの司会や街頭キャンペーンなど、様々な場面で活躍。市民の環境配慮意識を向上させるため、積極的な PR を実施しました。



まちごとエコタウン推進基金活用事業

本基金は、「まちごとエコタウン所沢構想」における「エネルギー・資源循環」を推進する事業の財源に充てるため、平成 26 年 9 月に設置しました。

メガソーラー所沢やフロートソーラー所沢といった再生可能エネルギー設備の設置運営費、家庭や事業所への創エネ・省エネ機器等の導入を支援する補助金、ごみの減量化や資源化等の資源循環を推進する事業に基金を充当しています。

また、メガソーラー所沢等で発電された電力の売電収入は、マチエコ基金に積み立て、「エコタウン所沢」の実現に貢献する新規事業の財源としています。

1 充当事業（平成 26 年～30 年度）

【エネルギー】

- メガソーラー所沢設置運営事業
- スマートエネルギー推進補助事業
- 電力ピークカット等蓄電池実証事業
- フロートソーラー所沢設置運営事業
- エコリフォーム推進奨励金交付事業
- 電気自動車普及推進事業
- エコファミリー認定事業
- 地域新電力出資金
- 小手指第 5 分館太陽光発電設備外修繕
- 所沢市道路照明灯 LED 化整備事業
- 防犯灯補助事業
- 防犯灯 LED 化整備事業
- 公園灯 LED 化整備事業
- 所沢市斎場駐車場外灯 LED 交換修繕
- 所沢サン・アビリティーズ体育室 LED 化整備事業
- 富岡まちづくりセンターホール照明 LED 化整備事業
- 市民体育館等 LED 化整備事業

【資源循環】

- ごみ分別・3R 啓発 DVD 作成事業
- 食品ロスゼロのまち促進事業
- 雑がみ回収推進事業
- 一般廃棄物収集運搬業務委託事業
- 生ごみ減量化・資源化推進事業



↑市内の道路照明灯 8,602 灯を包括リースで LED 化。

CO₂年間削減量：約 1,000 トン

年間経費削減額：約 5,000 万円

←市民体育館、地区体育館 4 館の照明を包括リースで LED 化。

CO₂年間削減見込量：約 380 トン

事業費の約 6,300 万円は、電気代等の削減により、6 年程度で回収できる見込みです。



西部クリーンセンター太陽光発電・蓄電池設備設置事業



1 施設の概要及び発電実績

設置場所：所沢市西部クリーンセンター（所沢市林一丁目 320 番地の 1）
事業期間：平成 29 年度
発電出力：15.8 kW
蓄電電力量：15.6 kW
平成 30 年度発電量：17,839 kWh

